

令和 6 年度(第 2 期試験)

東北大学大学院教育学研究科博士課程

(前期課程・一般選抜)

入学試験問題 外国語科目(英語)

注 意

- 1 試験時間は 90 分。
- 2 問題紙は 5 枚(表紙を除く)、解答紙は 4 枚。
- 3 設問Ⅰ、設問Ⅱの解答はそれぞれ別の用紙に記入すること。
- 4 辞書の持ち込み不可とする。

【設問 I】 次の英文を読み、以下の問題に答えなさい。但し人名は原文のままでよい。

ここに下記文献の抜粋が入ります。

(Spring, J. (2015). *Globalization of Education: An Introduction* (pp.194-197), New York, Routledge..

(p.194 の小見出し The Knowledge Wars: Brain Drain, Gain, and Circulation の段落のはじめから、 p.197 の 3 段落目終わり、for college graduates.まで掲載)

また、次の部分に下線を付してあります。

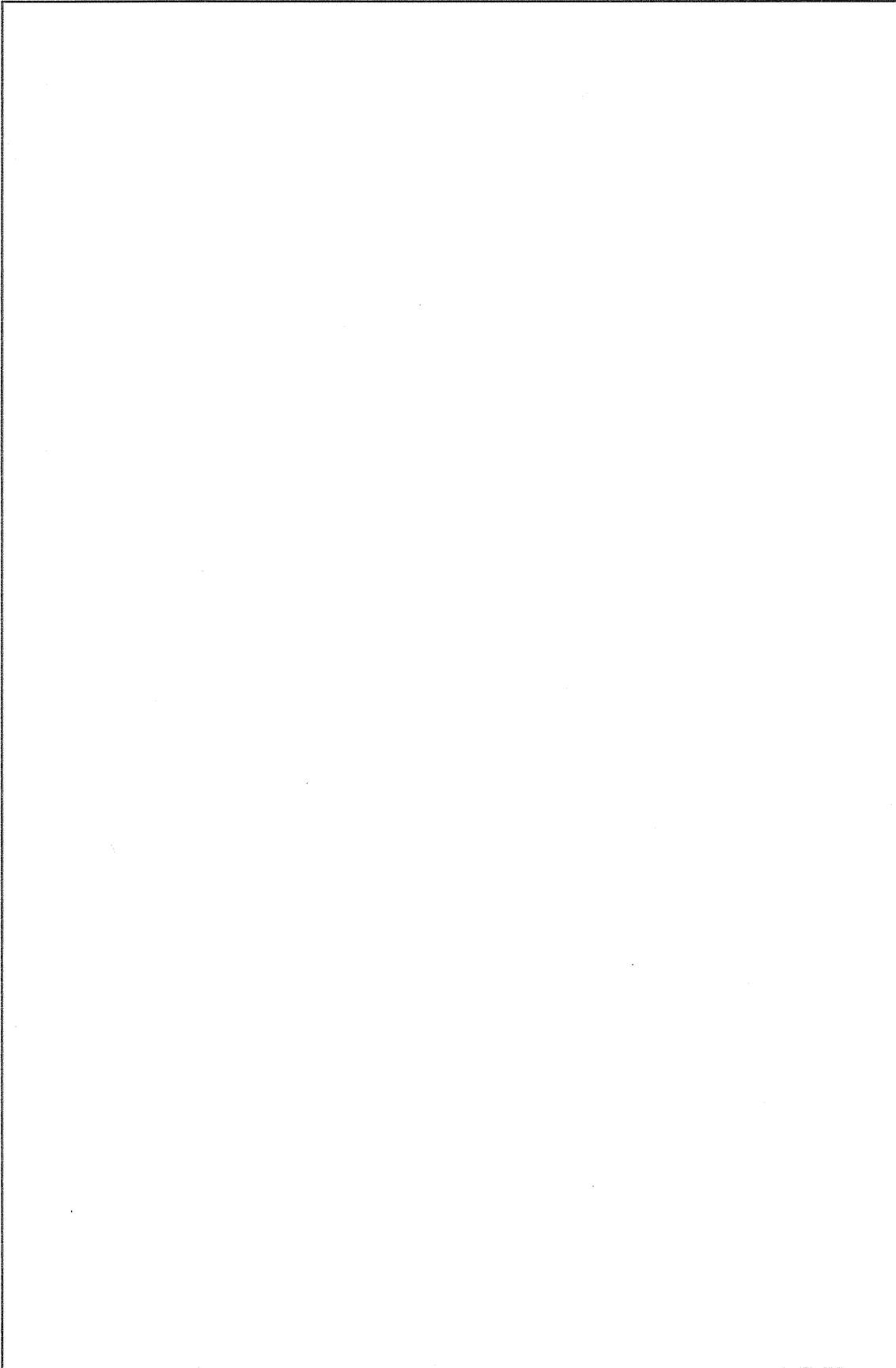
下線部① p.194 下から 4 行目、The knowledge wars were extended from a competition から、同段落末の an important factor in global politics. まで。

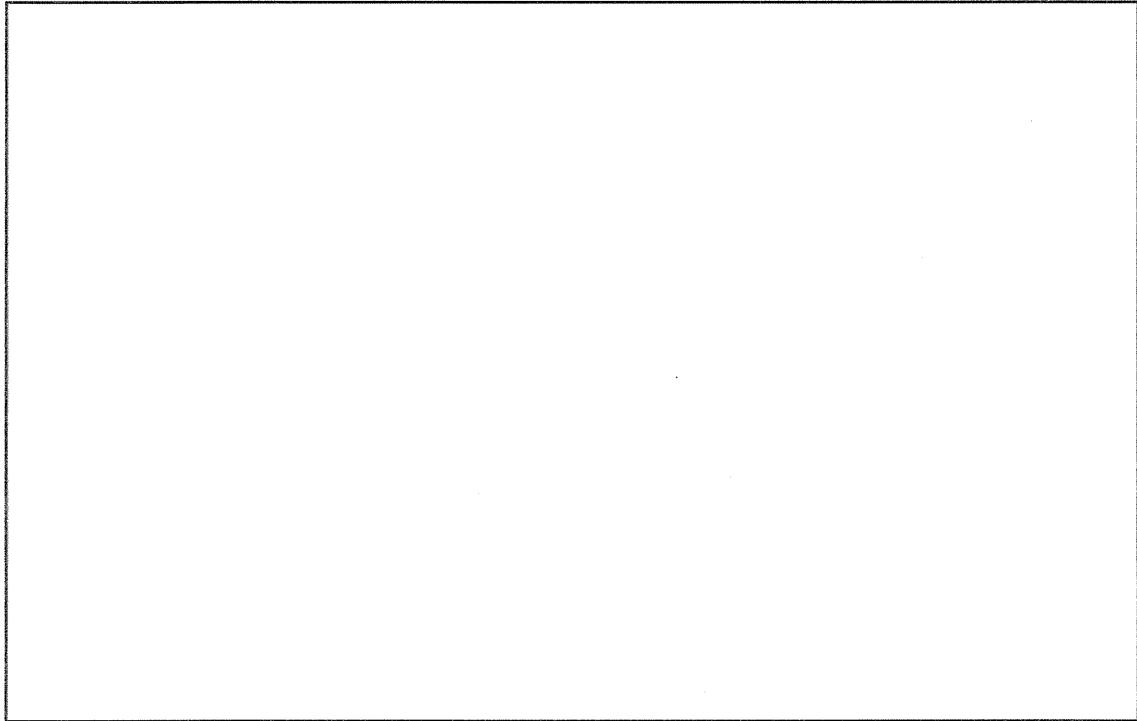
下線部② p.195 の 9 行目、Given the changing pattern of international migration から、同段落末の while living and working abroad.まで。

下線部③ p.195 の 4 段落、The brain drain of talent から、they leave behind.まで。

下線部④ p.196 下から 11 行目、positive effects。

下線部⑤ p.197 の 3 段落 2 行目、contradictory effects。





(Spring, J. (2015). *Globalization of Education: An Introduction* (pp.194-197), New York, Routledge.
より作成)

問題 1 下線部①を日本語に翻訳しなさい。

問題 2 下線部②を日本語に翻訳しなさい。

問題 3 下線部③を日本語に翻訳しなさい。

問題 4 下線部④に記される「positive effects」とは、具体的にはどのようなことか、日本語で説明しなさい。

問題 5 下線部⑤に記される「contradictory effects」とは、具体的にはどのようなことか、日本語で説明しなさい。

【設問Ⅱ】 次の英文を読み、下線部①～④を日本語に翻訳しなさい。但し固有名詞は原文のままでよい。

ここに下記文献の抜粋が入ります。

Willerton J. (2010) . *The psychology of relationships* (pp.121-123),
Basingstoke: Palgrave Macmillan.

(p.121 の小見出し Introduction の段落のはじめから、p.123 の 25 行目、factor analysis.まで掲載)

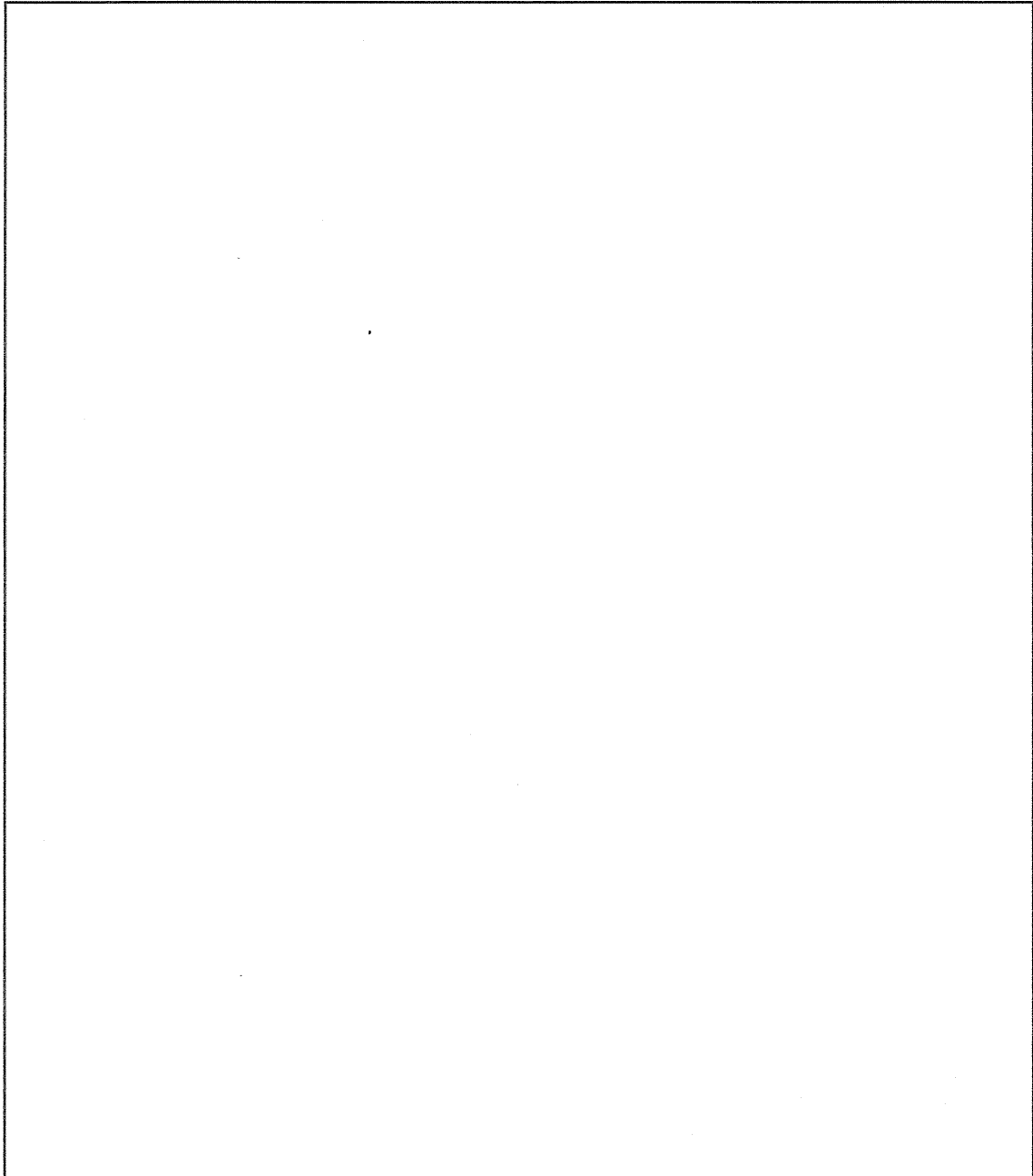
また、次の部分に下線を付してあります。

下線部① p.121 の 7 行目 These are that individuals から、3 行下 (10 行目) の two people involved.まで。

下線部② p.122 A cross-cultural approach to personal relationships の節の最初の段落の上から 5 行目、However, the emergence of cross-cultural social psychology から、段落末 (3 行下) の similar ways across cultures.まで。

下線部③ p.122 What do we mean by 'culture'?で始まる段落の 4 行目、As far back as 1952,から 3 行下の one group of people and another.まで。

下線部④ p.123 How do cultures vary? で始まる段落の 4 行目、In order to construct his model, ら 4 行下の called factor analysis.まで。



(Willerton J. (2010) . The psychology of relationships (pp.121-123), Basingstoke:
Palgrave Macmillan. より作成))

令和 6 年度（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育政策科学コース

入学試験問題（専門科目）

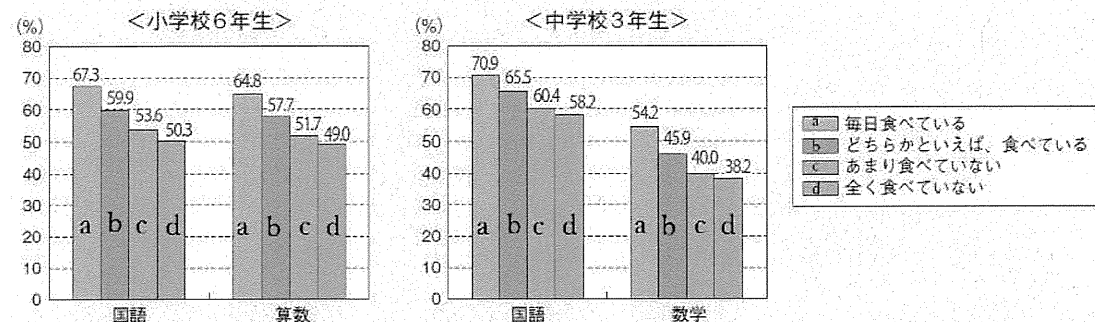
注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 2 枚（表紙を除く）、解答紙は 3 枚。
- 3 設問Ⅰ（共通問題）は全員解答すること。また、設問Ⅱ（選択問題）については、問題紙中に志望する専門分野ごとの問題選択の方法が記してあるので、それに応じて問題を選択の上、解答すること。
- 4 解答は、設問ごとの指示に従って解答紙を使用すること。

設問Ⅰ：共通問題（全員解答すること）

下の資料は文部科学省「令和４年度全国学力・学習状況調査」の結果をもとに作成され、『令和４年度文部科学白書』に掲載されているものである。

○朝食の摂取と学力調査の平均正答率との関係



（出典）文部科学省「令和4年度全国学力・学習状況調査」

（文部科学省『令和４年度文部科学白書』2023年、73頁掲載の図をもとに作成）

この資料を参考にして、【問１】から【問３】の問いに答えなさい（【問１】から【問３】への解答を解答紙１枚に収めること）。

【問１】 朝食の摂取と学力調査の平均正答率との関係について、資料から読み取れることを述べなさい。

【問２】 朝食の摂取と学力調査の平均正答率との間に、資料に示されているような関係がなぜ生じていると考えられるか。正しいと考えられる仮説を立て、さらにそのような仮説を立てた理由を述べなさい。

【問３】 文部科学省は現在、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会と連携して、「早寝早起き朝ごはん」国民運動を推進しているが、それとは異なる子どもの生活習慣の確立と学力向上に向けた取り組みを新たに立案し、さらに【問２】で立てた仮説と関連づけながらその取り組みが有効であると考えられる理由を述べなさい。

設問Ⅱ：選択問題（志望する専門領域の問題を選択して解答すること。）

【教育行政学領域】

次の各問いに答えなさい。（問1・問2で解答紙を各1枚使用すること。）

【問1】 以下の表1は公立学校教育職員の病気休職者数の推移（2013年度～2021年度）を示したものである。

- ① (A)(B)(C)それぞれの推移を記述し、その要因と思われる事柄を可能な限り多く挙げなさい。
② (A)(B)(C)を用いた四則演算を少なくとも2つ行い、それらの演算結果を記述したうえで、それぞれの要因と思われる事項を可能な限り多く挙げなさい。

表1 公立学校教育職員の病気休職者数の推移（令和3年度）

	2013	2015	2017	2019	2021
在職者数 (A)	919, 717	920, 492	920, 760	920, 370	919, 922
病気休職者数(B)	8, 408	7, 954	7, 796	8, 157	8, 314
うち精神疾患による休職者数(C)	5, 079	5, 009	5, 077	5, 478	5, 897

注：「在職者数」は、当該年度の「学校基本調査報告書」における公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、助教諭、講師、養護助教諭、実習助手及び寄宿舍指導員（本務者）の合計。

（出典：公立学校教職員の人事行政状況調査（平成24～令和3年度）、令和4年度『文部科学白書』126頁より作成。）

【問2】 教育行政学に関する次の語句のなかから3つを選択し、それぞれ200字程度で説明しなさい。

- ① 部活動の地域移行
② 教員育成指標
③ 併設型の中学校・高等学校による中高一貫教育
④ アジェンダセッティング
⑤ グラウンデッド・セオリー・アプローチ

令和 6 年度（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

グローバル共生教育論コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 1 枚（表紙を除く）、解答紙は 2 枚。
- 3 設問Ⅰ（共通問題）は全員解答すること。また、設問Ⅱ（選択問題）については、志望する専門領域の問題を選択し解答すること。
- 4 解答は、設問番号（設問Ⅱについては選択した専門領域）を明記の上、それぞれ別の用紙に記入すること。

設問Ⅰ：共通問題（全員解答すること）

過疎地域における教育の課題について、フォーマル教育あるいはノンフォーマル教育のいずれかの観点から論じなさい。

設問Ⅱ：選択問題（志望する専門領域の問題を選択して解答すること）

【成人教育領域】

問：日本における成人基礎教育の現状と課題について論じなさい。

【国際教育開発論領域】

問：一般的に国際教育開発研究では、開発のための教育、教育の開発および教育と開発という3つの見方を通して先進国と発展途上国を含む国際社会における教育開発の諸問題の解決を目指している。以上の3つの見方をそれぞれ説明しながら、国際教育開発について具体例を挙げて説明しなさい。

【多文化教育論領域】

問：国内外における著しい社会経済情勢の変化に対応するために、近年、地域社会における多文化共生の推進が注目されている。下記の4つの側面から3つを選び、具体例を用いて、多文化共生施策の推進の今日的意義を説明しなさい。

- ①コミュニケーション支援
- ②生活支援
- ③意識啓発と社会参加支援
- ④地域活性化の推進やグローバル化への対応

令和 6 年度（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育情報アセスメントコース

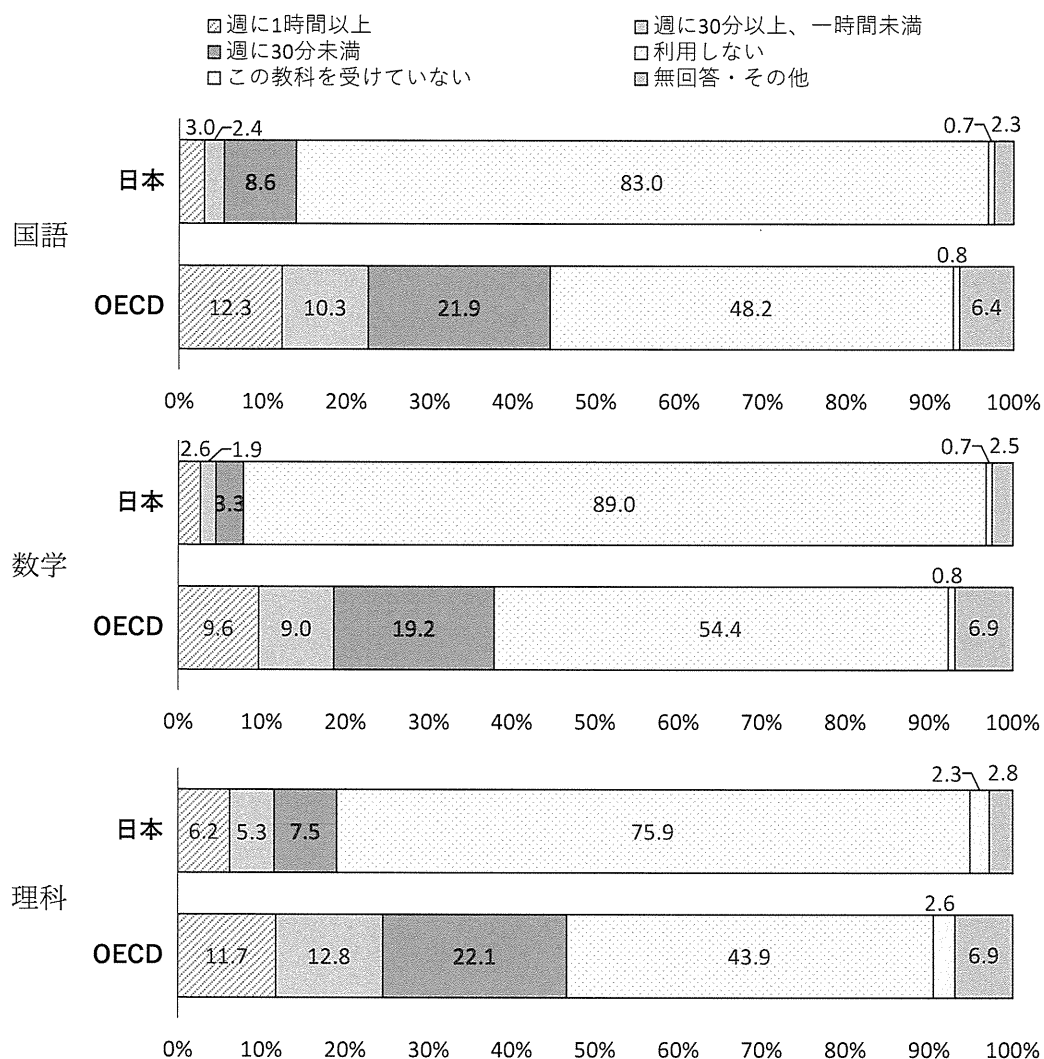
入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 4 枚（表紙を除く）、解答紙は 3 枚。
- 3 設問Ⅰと設問Ⅱの両方に解答すること。
- 4 解答は、問題番号を明記の上、設問Ⅰは 1 枚目に、設問Ⅱは 2 枚目、3 枚目の用紙に記入すること。

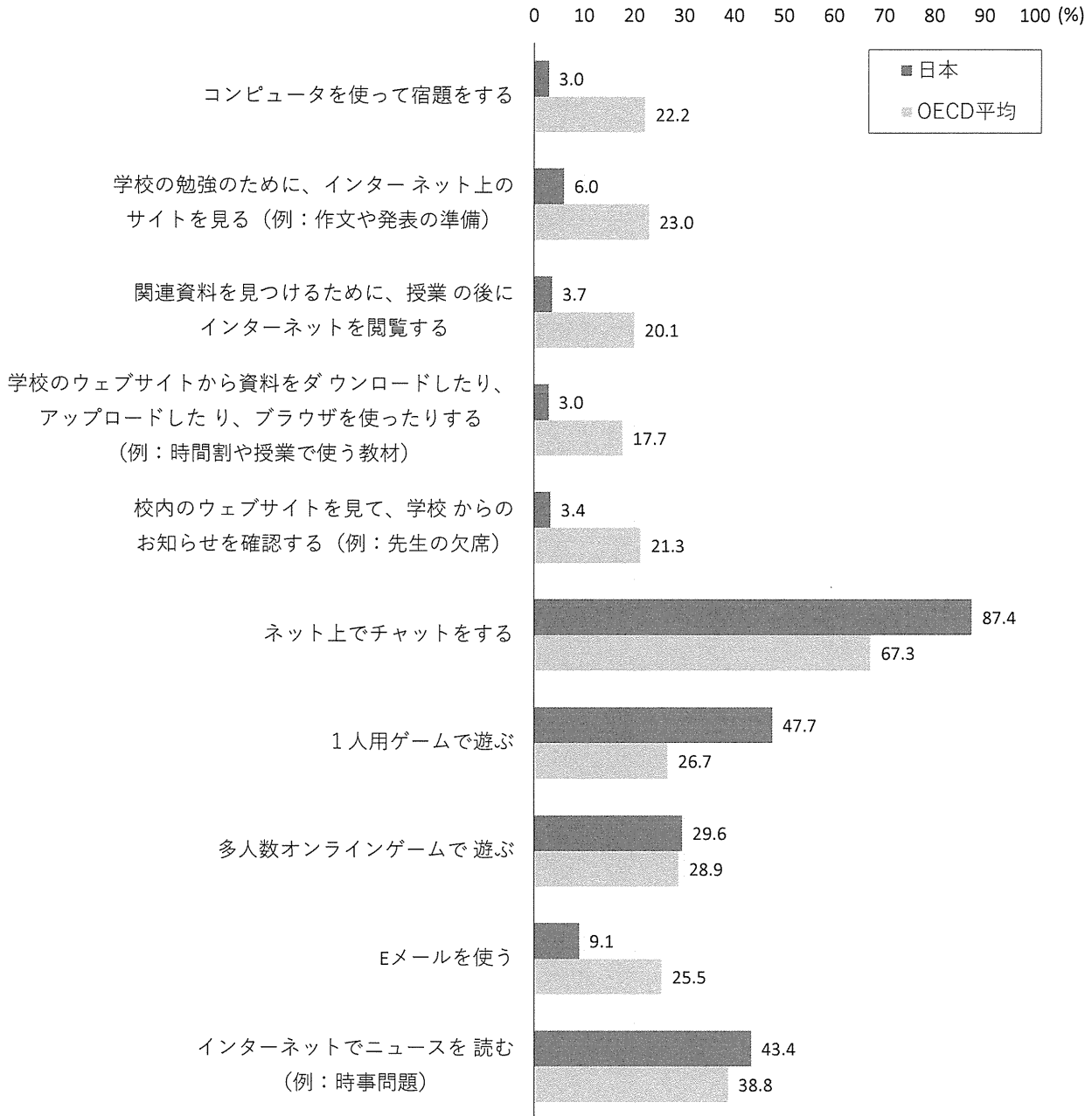
設問Ⅰ 以下の図表は「OECD 生徒の学習到達度調(PISA2018)のポイント(国立教育政策研究所)」の「学校・学校外でのデジタル機器の利用状況」をもとに作成したものである。
図表をもとに問1、2に答えなさい。

1週間のうち、教室の授業でデジタル機器を使用する時間



学校外での平日のデジタル機器の利用状況

(グラフは「毎日」「ほぼ毎日」の合計)



問1 2つの図表から読み取れる日本の特徴について400字程度で述べよ。

問2 問1で読み取った日本の特徴から、今後日本の教育をどのように改善すべきと考えるか、あなたの考えを400字程度で述べよ。

(国立教育政策研究所, OECD 生徒の学習到達度調査 2018 年調査 (PISA2018) のポイント, https://www.nier.go.jp/kokusai/pisa/pdf/2018/01_point.pdf (最終アクセス 2023.12.25) より作成)

設問Ⅱ つぎの文章を読み、問 1、2 に答えなさい。

ここに下記資料の抜粋が入ります。

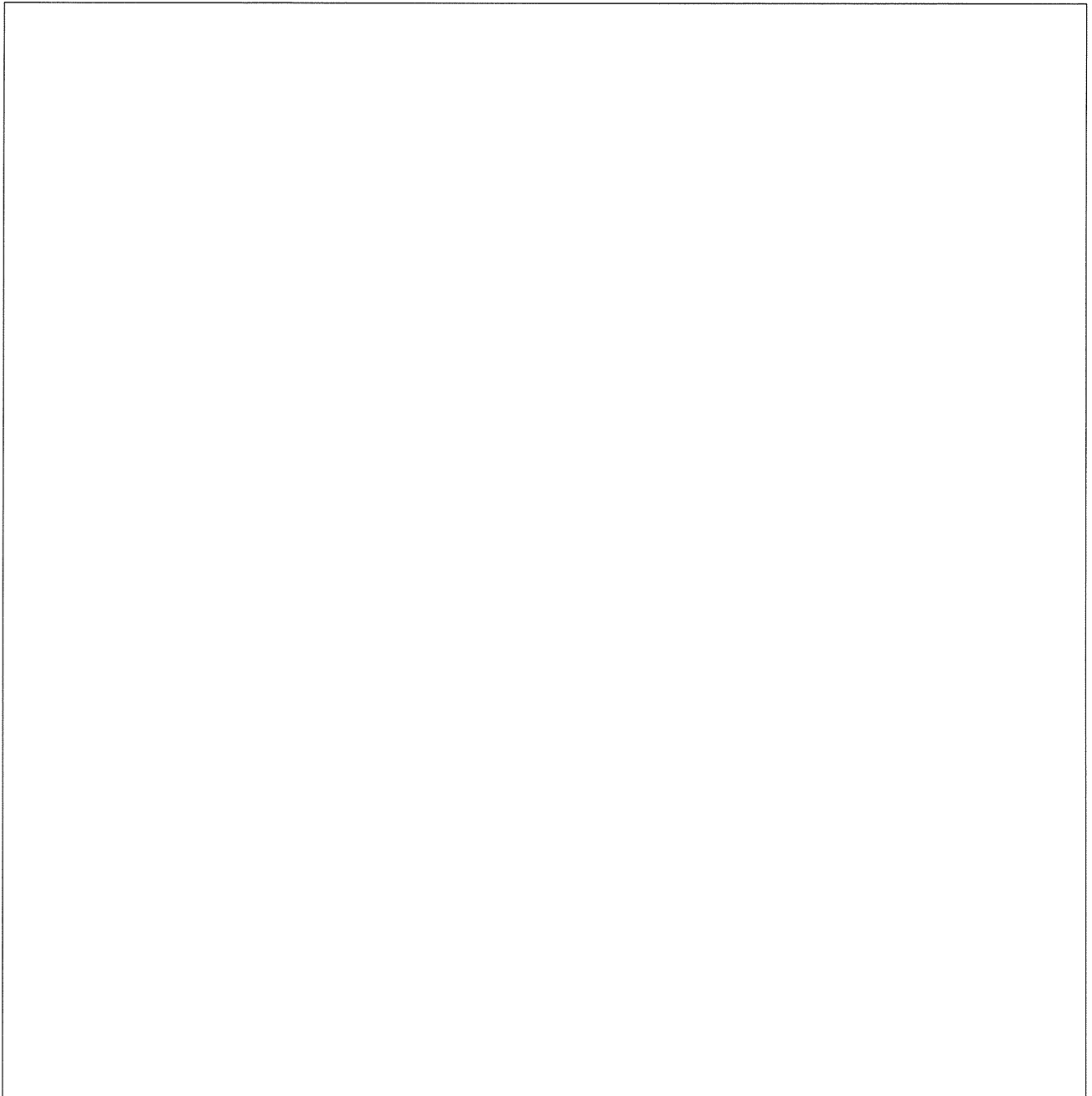
梶田叡一 『絶対評価〈目標標準評価〉とは何か』, 小学館, 2004.

P. 70「知識・理解や技能…」から P. 74 ページ「といっても過言ではない。」まで。

また、以下の部分に下線を付してあります。

下線部①：P. 73 「さらには、あれこれの ～ ことも明らかであろう。」

下線部②：P. 73 「関心・意欲・態度とか問題 ～ みなくてはならないであろう。」



(梶田叡一 『絶対評価〈目標標準評価〉とは何か』, 小学館, 2004. より作成)

問1 下線部①における「本当の改善でないことも明らかであろう」ということについて、なぜそのように言えるのかを、具体例を挙げながら説明しなさい。

問2 下線部②における「学力としてとらえにくい面が、現在なぜ重視されるのであろうか」ということについて、あなたが考える理由、および現在の日本の教育状況においてどのようにしたらそれを適切に捉えることができるのかについて述べなさい。

令和 6 年度（第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜）

教育心理学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

- 1 試験時間は 120 分。
- 2 問題紙は 1 枚（表紙を除く）、解答紙は 4 枚。
- 3 【共通】【B-1】【B-2】・・・の解答は、問題番号を明記の上、それぞれ別の解答紙に記入すること。
- 4 志願する領域によって解答する問題が異なるので、注意すること。

発達心理学領域を専攻しようとするものは【共通】【B-1】【B-2】【B-3】の各問題に解答すること。

< 発達心理学領域 >

【共通】 我が国のある自治体において、その自治体に住む子ども全員を対象として、乳児期から縦断的に追跡調査をする取り組み（縦断的コホート調査）が行われてきた。

このような調査を行うにあたり、どのような調査計画を立てることにより、どのような学術的成果が期待されるか、また、実践的側面を考慮した場合に必要なとされる配慮や対応、体制整備としてどのようなことが想定されるか述べて下さい。なお、調査テーマは自由に設定し、調査期間は乳児期から青年期とする。

【B-1】 ピアジェ (J. Piaget) の認知発達理論における 4 段階について、それぞれの段階の特徴を説明して下さい。

【B-2】 人間発達において、「遺伝」と「環境」はどのような役割を果たすと考えられてきたのかについて、現代的な知見もあわせて説明して下さい。

【B-3】 エリクソン (E.H.Erikson) が青年期の心理社会的危機として提唱した「自我同一性達成 対 自我同一性拡散」について「役割実験」「モラトリウム」という語句を用いて説明して下さい。

令和 6 年度 （第 2 期試験）

東北大学大学院教育学研究科博士課程

（前期課程・一般選抜および社会人特別選抜および
外国人留学生特別選抜）

臨床心理学コース

入学試験問題（専門科目）

注 意

1. 試験時間は 120 分。
2. 問題紙は 1 枚（表紙を除く）、解答紙は 5 枚。
3. 解答は所定の用紙に記すこと（設問Ⅰ～設問Ⅲの解答は各 1 枚の解答紙を用いて、設問Ⅳの解答は 2 枚の解答紙を用いて、(1)～(4)を 1 枚目、(5)～(8)を 2 枚目に記入すること）。

…………臨床心理学コース…………

【設問Ⅰ】 十分な病識が持てない精神疾患患者に対する心理職としてのアプローチ、その家族への支援、主治医との協働のあり方について述べなさい。 (20 点)

【設問Ⅱ】 大規模災害に備えて心理職が準備しておくこと、および大規模災害後に心理職がなしうることについて述べなさい。 (20 点)

【設問Ⅲ】 臨床心理学の理論や研究を実際の事例に対して応用することについて、その意義とともに、気をつけるべき点について述べなさい。 (20 点)

【設問Ⅳ】 以下の用語をそれぞれ 5 行程度で説明しなさい。 (各 5 点)

- (1) 医療保護入院
- (2) BPSD (Behavioral and Psychological Symptoms of Dementia)
- (3) モデリング
- (4) 流動性知能
- (5) ポリヴェーガル理論
- (6) 集団療法
- (7) ハミルトンうつ病評価尺度(HAM-D)
- (8) 再検査信頼性

(以下余白)